

# きはだ

～大事な言葉を見付けて、  
分かったことを伝えよう～

「すがたをかえる大豆／  
食べ物のひみつを教えます」





## きはだ学級国語科學習指導案

第3学年 児童数3名 2/6

↑ ワークシート

### 1 単元名 大事な言葉を見付けて、分かったことを伝えよう

教材名 「すがたをかえる大豆／食べ物のひみつを教えます」（光村図書 3年下）

### 2 単元目標

◎文章中の重要な語や文を見付け、内容の大体を捉える。

・共通点や相違点を理解して、仲間分けをすることができる。〔知識及び技能（2）ア〕

・文章中の重要な語や文を見付け、内容の大体を捉えることができる。

〔思考力、判断力、表現力 読むこと ウ〕

・教師と一緒に教材文を読み、分かったことや感想を伝えようとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

### 3 単元評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・共通点や相違点を理解して、仲間分けをしている。	・「読むこと」において、文章中の重要な語や文を見付け、内容の大体を捉えている。	・教師と一緒に文を読み、分かったことを伝えようとしている。

### 4 単元について

#### （1）これまでの学習経験

2年生での「たんぽぽのちえ」「どうぶつ園のじゅうい」「馬のおもちゃの作り方」では、順序を表す言葉と、挿絵や写真を手掛かりに、時間や事柄の順序に沿って大体の内容を捉える学習をした。そして、読み取ったことを『マイたんぽぽちえBOOK』『どうぶつえんのじゅうい新聞』『ウマコ（各自が命名した馬の名前）の説明書』にまとめた。

3年生1学期の「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」では、「問い合わせ」と「答え」に着目し、中心となる言葉や文を見付けながら、内容の大体を読み取り、ワークシートに整理した。どの単元においても、文章だけではなく、実物、動画、写真などの視覚的な手立てを多く用いて学習に取り組んでいる。

#### （2）本教材について

本単元では、写真を手掛かりに筆者の考えを支える例を見付け、分かったことを相手に伝えることを目指す。

本教材「すがたをかえる大豆」は、そのままでは食べにくい大豆について、味と栄養を保つための加工法の工夫を紹介した文章である。児童は、節分の豆まき用に大豆を育てたり、親戚のみそ工場を見学したりする経験を通して、大豆や大豆由来の食品が身近なものとなっている。食品の中に大豆由来のものが多くあることや、大豆のよさを生かすために食べ方を工夫してきた昔の人々の知恵に、児童は興味をもって読み進めることが予想される。

また、本教材は、筆者の考えを支えるために、9つの大豆由来の食品例と、それらの具体的な加工法が挙げられている。食品の写真が本文に即して挿入されているため、大体の内容を読み取るための手掛かりとして分かりやすい教材である。

## 5 研究主題に迫るための手立て（ユニバーサルデザインを意識した指導の工夫）

### （1）具体物の操作を通した語彙の習得（視覚化）

教材文で使われている「いる」「にる」「こなにひく」などの「作り方」に関する言葉と、それに伴う「食品名」について、具体物を使った体験で確認し、言葉の意味を体験を伴って理解できるようとする。その際には、他教科の学習と関連させる。

### （2）拡大教科書の活用（視覚化）

教材文は1文ずつ提示することで、児童が見る情報量を精選する。また、文字を拡大し画面の背景を黒くすることで、文字を読みやすくし児童の読むことへの苦手意識や特性に対応する。

### （3）児童に応じた選択方法（個別的な配慮）

教材文を読み、「作り方」の写真と「食品」の写真を複数枚の写真の中から選んで貼っていく活動をする。その際、個々の児童に応じて提示する選択肢（写真）の数を変えたり、選択方法を変えたりして、選びやすくする。

### （4）言語活動（焦点化、個別的な配慮）

教材文から、食品についての「おいしく食べるくふう」や「作り方」を見付け、見付けたことを友達に伝えるための動機付けとして、「この食品は何でしょう？」という「大豆クイズ」「米クイズ」を出題する言語活動を行う。また、ワークシートにクイズをまとめる際に、「おいしく食べるくふう」毎に仲間分けができるようにする。

ワークシートは、「おいしく食べるくふう」や「作り方」についての問題を作る形式のもの、答え（食品）を貼って完成させるものなど個々の課題に応じたものを提示する。

## 6 学び方（「うさ松の秘伝書」の項目番号）

言語形式 様々な説明的な文章に活用できる読み方	言語内容 該当教材における特有の読み方
1. 例の大体を捉え、教材文の内容と写真と結び付ける。（②）	1. 9つの「食品」と「作り方」の言葉を読み、自分たちが体験を通して学んだ写真と結び付ける。 3段落 大豆をその形のままいったり、にたりする ・いる→豆まきに使う豆 ・にる→に豆 4段落 こなにひく→きなこ 5段落 えいようを取り出す（しぶり出す）→とうふ 6段落 小さな生物の力をかりる ・なつとうきん→なつとう ・コウジカビ→みそ、しょうゆ 7段落 とり入れる時期や育て方をくふう ・やわらかいうちにゆでる→えだ豆 ・日光に当てずに水だけで育てる→もやし
2. 仲間分けする。（⑨）	2. (1) 5つに仲間分けされた大豆由来の9食品を見て、それぞれの仲間に「〇〇なくふう」というタイトルをつける。（筆者が考えた5つの文章から選択する。）

	(2) 筆者の考え「〇〇なくふう」の5つのタイトルの それぞれに当てはまる食品を9食品から選ぶ。 ※児童に応じて(1)(2)のどちらかを行う。
--	---

## 7 学習指導計画（6時間扱い）

次	時	学習活動	○指導内容	◇支援 ★評価
一 学習の見通しをもつ	1	食品の材料を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な食品の材料を考えるクイズをし、材料が食品に姿を変えるイメージをもつ。</li> <li>○食品の写真を提示し、主に何からできているのかイメージさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇主に児童の身近で好きな食品を提示する。(ケチャップ、ヨーグルト、おかゆ、ラーメン、パン、ポテト、など)</li> </ul>
二 内容の大体を捉える 第一教材「すがたを変える大豆」	2 本時 (習得①)	「すがたをかえる大豆」の自分だけの教科書を作ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</li> <li>○教材文の範読を聞き、食品を見付ける。</li> <li>○文を読み、作り方と食品の写真(シール)を貼る。 (形式段落③～⑦) じっくりタイム</li> <li>○できたものを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習を振り返り、めあてを確認すること。</li> <li>○どんな食品が出てきたかを見付けること。</li> <li>習得① 「作り方」「食品」の言葉を見付け、写真と結び付けること。</li> <li>○大事な言葉を見付けて伝えること。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇大豆加工を体験したときの作り方、熟さやにおいなど、思い出したことのつぶやきを拾う。</li> <li>◇教室に入れない場合、別の教室からリモート参加ができるように準備しておく。</li> <li>◇教材文を1文ずつ提示する。</li> <li>◇工夫や作り方には色を付けて見付けやすくする。</li> <li>◇自分たちが経験したときの写真をシールにする。選択肢の写真を少なくし、文章中のキーワードに合う写真を教師と一緒に考える。</li> <li>◇全体交流で共有するときは学習したワークシートをつなげて見られるようにする。</li> <li>◇「作り方」「食品」と対応した写真を貼り、自分の言葉で伝えられたことを褒める。</li> <li>★文章中の重要な語や文を見付け、内容の大体を捉えている。</li> </ul>

3 (習得②)	<p>クイズ「この食品は何でしょう？」の問題を考えよう。</p>	<p>○教材文を読み、おいしく食べる工夫と作り方を問題にしたクイズを作り、出題する。 (形式段落③～⑦)</p>	<p>◇初めに出題の手本を示す。 ◇出題が難しい場合は、何の食品について出題したいかを聞き取り、読み取る部分を指差しで示し、ヒントとする。</p> <p>★文章中の重要な語や文を見付け、内容の大体を捉えている。</p>
4 (習得③)	<p>大豆クイズを作ろう。</p>	<p>○各段落の「おいしく食べるくふう」を読み、9食品が5つの仲間に分けられていることを確認する。</p> <p>○(1) 5つに仲間分けされた食品(写真)に、「『○○なくふう』がされたものは何でしょう？」というクイズを書く。 (2) 上記のクイズの答え(食品)を貼る。</p> <p>○クイズを全体交流する。</p>	<p>◇クイズを作るワークシートは数種類用意する。</p> <p>○児童の実態に応じて、(1)(2)のどちらかを行うようする。 (個)</p> <p>◇「○○な工夫」の部分について、クイズとして作れたことを褒める。</p> <p>★文章中の重要な語や文を見付け、内容の大体を捉えている。</p>

三 身近な食品を紹介する 第二教材「いろいろなすがたになる米」	5 ・ 6 (活用)	クイズ「この食品は何でしょう？」の問題を考え、米クイズを作ろう。		
		<p>○教材文の範読を聞き、食品を見付ける。</p> <p>○文を読み、食品の写真(シール)を貼る。 (形式段落②③④)            • たく→ごはん、おかゆ            • むして、うすときねでつく            →もち            • こなにする→だんご</p> <p>○教材文を読み、おいしく食べる工夫と作り方を問題にしたクイズを作り、出題する。 (形式段落②③④)</p> <p>○各段落の「おいしく食べるくふう」を読み、4食品が3つの仲間に分けられていることを確認する。</p> <p>○ (1) 3つに仲間分けされた食品(写真)に、「『○○なくふう』がされたものは何でしょう？」というクイズを書く。            (2) 上記のクイズの答え(食品)を貼る。</p> <p>○クイズを全体交流する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">活用 習得①を使って活用を図ること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">活用 習得②を使って活用を図ること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">活用 習得③を使って活用を図ること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">○「おいしく食べるくふう」を見付けること。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">○大事な言葉を見付けて伝えること。</div>	<p>◇クイズの問題を考えるための教材文(形式段落②③④)を一人1段落ずつ担当するように、一人1段落ずつ提示する。</p> <p>◇「作り方」の写真をあらかじめ文と共に提示し、食品シールのみ貼るようにする。</p> <p>○児童の実態に応じて、(1)(2)のどちらかを行うようする。 (個)</p> <p>◇「○○な工夫」の部分について、クイズとして作れたことを褒める。</p> <p>★文章中の重要な語や文を見付け、内容の大体を捉えている。</p>

## 8 本時の指導（2／6時） きはだ学級3年

(1) 目標 教材文と写真を結び付けて、内容の大体を捉える。

(2) 展開

学習活動	○指導内容 ■予想されるつまずき	◇支援 (全)…全体 (個)…個別 ★評価
1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○学習を振り返り、めあてを確認すること。  ■いつもと違う状況に緊張して教室に入ることができない。	◇大豆加工を体験したときの作り方、熱さやにおいなど、思い出したことのつぶやきを拾う。 (全) ◇教室に入れない場合、別の教室からリモート参加ができるように準備しておく。(個)
<b>「すがたをかえる大豆」の自分だけの教科書を作ろう。</b>		
2. 教材文の範読を聞き、食品を見付ける。	○どんな食品が出てきたかを見付けること。  ■範読を聞いて、教材文を目で追うことが難しい。	◇1文ずつ提示する。(全)  ◇一度に提示する文章量を少なくする(段落③～⑦の内容を1段落1枚のワークシートにする。 1文ずつ提示する。)(全)
3. 文を読み、作り方と食品の写真(シール)を貼る。  (形式段落③～⑦)  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">じっくりタイム</span>	習得①「作り方」「食品」の言葉を見付け、写真と結び付けること。  ・いる→豆まきの豆 ・にる→に豆 ・こなにひく→きなこ ・えいようを取り出す→とうふ ・コウジカビ→みそ、しょうゆ ・やわらかいうちにゆでる →えだ豆	◇「作り方」「食品」に色を付けた文を提示する。(全) ◇自分たちが経験したときの写真をシールにする。(全) ◇写真の選択肢を少なくし、文章中のキーワードに合う写真を教師と一緒に考える。(個)
4. 全体で交流する。  (形式段落③～⑦)  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なるほどタイム</span>	○大事な言葉を見付けて伝えること。	◇全体交流で共有するときは、学習したワークシートをつなげて見られるようにする。(全) ◇「作り方」「食品」と対応した写真を貼り、自分の言葉で伝えていることを価値付けする。(全)
5. 次時の学習を確認する。		★文章中の重要な語や文を見付け、内容の大体を捉えている。